

# 愛知大学総合郷土研究所紀要 総合目録

(1955～1970)

	輯	頁	発行年
浅 若 晃			
三河地方経済史・分一番所の研究(上)	3	103	1957
三河一宮村の古墳発掘分布について	4	1	1958
分一番所の研究(中)	5	27	1959
分一番所の研究(下)	6	75	1960
井 森 陸 平			
階級所屬意識測定方法の比較研究	4	85	1958
都市の地区区分に関する研究	5	57	1959
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第1章 総説	8	1	1962
歌 川 学			
東三河地方における条理制の遺構 1	4	27	1958
” 2	6	1	1960
” 3	7	1	1961
藩営新田の破綻	10	49	1965
倭名鈔所載の東三河の郷について 1	12	33	1967
” 2	13	1	1968
条理制下の畦畔の構造			
一愛知県宝飯郡御津町上佐脇条理遺構発掘調査報告一	14	53	1969
大 須 賀 初 男			
渥美半島における出入り争論	1	55	1955
川 越 淳 二			
都市の社会学的研究における標本調査について	3	121	1957
人口構成からみた名古屋市の社会生態学的特徴	5	71	1959
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第4章			
渥美半島における温室栽培の普及過程について			
一愛知県渥美郡赤羽根町越戸一	8	53	1962
久 曾 神 昇			
渥美半島の黎明時代	1	1	1955
萬葉遺跡「二見道」考	3	91	1957
志香須賀渡考	4	35	1958
三河入道寂照の研究	5	15	1959
磯丸の特殊技巧歌	6	41	1960
歌枕「八橋」考	7	53	1961
三河入道寂照・力寿姫伝説	9	1	1963

古代の蒲郡	10	1	1965
浄瑠璃姐伝記考	11	1	1966
萬葉集「引馬野・安礼乃崎」考	12	1	1967
渡辺華山の狂歌	13	33	1968
熱田神宮所蔵日本書紀背和歌	14	1	1969
中条兵庫頭入道元成とその和歌	15	1	1970
栗原光政			
渥美半島の漁村の地理学的研究			
一特に表浜について一	1	11	1955
見城幸雄			
旧吉田藩領三州渥美郡馬見塚村における本途物成負担の実態 (一)	6	25	1960
“ (二)	7	7	1961
“ (三)	9	23	1963
近藤恒次			
近世遠州灘難破船の研究			
一渥美半島沖を中心に一	1	33	1955
近世の旅籠屋とその奉公人			
一東海道赤坂宿の場合一	3	79	1957
新居関所の研究 (上)	4	57	1956
“ (中の1)	5	41	1959
“ (中の2)	6	53	1960
“ (中の3)	7	35	1961
“ (中の4)	9	55	1963
“ (中の5)	10	39	1965
“ (下)	11	25	1966
近世の中学生文芸			
一風生・薫・明平一	12	79	1967
賀茂真淵かぶらの長歌について	14	13	1969
賀茂真淵書簡の研究			
一三河植田家との関係において一	15	11	1970
後藤和夫			
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第6章			
山村における林業技術の普及過程			
一愛知県額田郡額田町一	3	83	1962
榊原淳一郎			
真国村文書による新城地方の御蔭参りにについて	13	27	1968
新城地方における葬制の民俗について	14	89	1969
島本彦次郎			
渥美半島における寝宿の習俗 (上)	2	65	1955
波瀬村モノグラフ 一つの門徒村一 (共著)	3	1	1957
渥美半島における寝宿の習俗 (下)			
一部落構造と寝宿の機能一	6	87	1960

農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第5章			
平担水田稲作地帯における稲作技術の普及過程とその一要因			
一愛知県安城市横山町一	8	67	1962
鈴木泰山			
常滑城主水野監物家の新資料について	6	13	1960
尾州知多郡阿久比谷の虫供養について	9	11	1963
桶狭間戦後の家康とその東進政策	10	29	1965
小牧長久手合戦のレポート			
一特に竹鼻城主不破源六の動静を中心にして一	14	61	1969
田崎哲郎			
幕末・明治期在村蘭方医の生き方			
一参州住人玄朴門武田元順の場合一	14	73	1969
千葉徳嶺			
三河宮崎地区のシシヨケについて	13	13	1968
「郷土の人物」を指標としてみた地域住民の価値観志向について	14	37	1969
近世中末期美濃地方の丘陵における林野の荒廃について	15	31	1970
夏目隆文			
橘逸勢の研究(上)	10	13	1965
橘逸勢の研究(中)			
一終焉地『遠江国板築駅』の研究(上)	11	13	1966
〃 (下)	12	17	1967
萬葉集巻二十に見える防人のふるさと〈遠江編〉	14	21	1969
長谷川昭彦			
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第2章			
京都府における農家経営技術改良生活改善普及の概況	8	27	1962
堀井令以知			
東三河方言の言語地理学的研究(1)	6	79	1960
大井川上流井川村方言の考察	7	47	1961
名古屋方言における構造的変異	9	69	1963
等語線の問題	10	63	1965
三河方言語彙考			
一「玉蜀漆」と「片足跳」一	11	37	1966
蟻の方言について	12	95	1967
アクセントの固定とゆれについて			
一豊橋アクセントを中心に一	13	45	1968
愛知県における「めだか」の方言分布	14	31	1969
方言進化における分化と統一の傾向	15	39	1970
牧野由朗			
波瀬村モノグラフ			
一一つの門徒村一(共著)	3	1	1957
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第7章			

梨栽培の普及と村落の構造 —愛知県西尾市横手町—	8	99	1962
松 葉 秀 文			
渥美農漁村における封建遺制 —赤羽根村々議公選の実情から—	1	27	1955
市町村合併の意義とその実情 —東三地域を中心として—	3	109	1957
村 武 精 一			
漁業組織と村落構造：渥美半島の場合 —漁業村落研究の覚書(1)—	2	79	1955
故秋葉隆博士の遺著『朝鮮民俗誌』をめぐって —社会人類学的断想—	2	103	1955
波瀬村モノグラフ —一つの門徒村— (共著)	3	1	1957
森 靖 雄			
近世末期農民層分解の一事例 —尾州宮田村知行地における支配関係と高利貸の形成を中心に—	7	21	1961
乗本村と菅沼家の土地集中について	9	39	1963
黎明期民間製糸企業の実態 (上)	11	43	1966
〃 (下)			
—三重県伊藤製糸部の創業と発展—	12	47	1967
横 山 将 三 郎			
渥美半島の考古学的調査研究 —田原町遺蹟群—	2	1	1955
豊橋市天伯町南高田遺跡発掘報告	3	63	1957
—宮村炭焼平古墳発掘調査報告	4	5	1958
—宮村上長山古墳発掘調査報告	5	1	1959
与 曾 井 章 平			
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第3章 農業技術改良普及とインホームリーダー	8	39	1962
西 方 寿 雄			
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 第8章 産児制限知識の普及過程について	8	117	1962
特 輯 号			
農業技術改良の普及過程とその要因に関する研究 海女のむら —鳥羽市国崎町— —志摩漁村の構造とその変容過程に関する社会学的研究 その1— 特輯号	8		1962 1965